■ 美濃加茂市立太田小学校

1 児童の歯・口の実態

本校は、学級数は23学級(内、特別支援学級6学級)、児童数は578名である。「歯・口の健 康づくり」を健康教育の柱にし、学校歯科医・学校・P TAが連携した歯・口の健康づくり(はっぴー活動)や フッ化物洗口を始めて11年目になる。その成果は、1 日3回以上歯をみがく児童が8割を超え、DMFTが 低下するなどデータにも表れてきた。しかし、むし歯が 減少する一方、口腔の清掃や歯肉の健康に問題がある 児童の割合は高く、歯・口の状態がよい児童と、指導と 管理が必要な児童との差が顕著になってきた。また、在 籍1割を超える外国籍児童にハイリスク児童が多い。

- 歯・口腔の健康診断の流れ(年2回 春・秋)
- ① 全体へのアプローチ 歯・口の保健指導 (歯科衛生士・養護教諭)
- ② 歯・口腔の健康診断・個別指導(学校歯科医)

担任も一緒

- ③ はっぴー審査(学校歯科医) はっぴースタンプ 結果用紙作成(歯科衛生士) 当日持ち帰り
- ④ 個別指導…結果、C,CO,G,GOなど(養護教諭)
 - 学校歯科医の一言指導
- ⑤ 歯みがき指導・治療の勧め(担任・養護教諭)

2 指導の願い

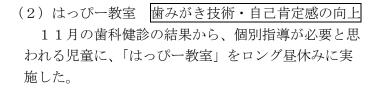
ハイリスク児童が、自己肯定感を高めながら、歯みがき技術が向上していく指導を目指す。こ の指導は、本校が推進している「はっぴー活動(歯・口の健康づくり。親しみやすく、幸せを願っ て命名)」の一環である。

3 取組の内容

【日時】

(1) 歯科健診から始まる担任による指導 歯みがき意欲・受診率の向上

学校歯科医の協力により、春と秋に歯科健診を実施 している。職員研修では、学校歯科医より歯科健診の 意義やCO、COS、GO、歯肉炎の見分け方につい て学んだ。担任は学校歯科医の横で、一人ひとりの口 腔の健康状態を確認し、学校歯科医による指導を児童 と共に受けることで、担任が「ロの中が気になる子」 という意識を持って、ハイリスク児童への給食後の歯 みがきや歯科指導時の声かけや、養護教諭が発行する 年6回の治療の勧めを保護者に届けるようになった。





健診を見守る学級担任

歯科衛生士によるグループ指導

【対象児童】 対象者は検診結果から学校歯科医と相談した

- (1) 乳歯にむし歯が3本以上(2) 永久歯にむし歯が1本以上
- (3)永久歯にCOが2本以上 (4)歯垢2の児童

12月10日(火) 昼休み第1~4学年 12月18日(水)昼休み第5.6学年



養護教諭による指導